



『活きている ことわざ』

船橋市議会議員（無所属・5期）

神田 廣栄（かんだ ひろえい）市議会報告

【事務所】

船橋市前原西8-24-8

☎047-490-3333

Fax 465-7117

【所属】市民民主連合・文教委員会 Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

【役職】予算決算委員会委員長 ホームページ <http://www.hiroei.jp>

理屈と膏薬は何処へでもつく

◇どんなことにも、理屈をつけようとすればもっともらしい理屈がつけられる、ということ。

《解》貼り薬の膏薬が体のどこにでもくっつくように、理屈をつけようと思えば、どんなことにでももっともらしくつけられるところから。

現在開催されている第3回定例会で日本共産党から、発議案第1号「安倍元首相の国葬実施の中止を求める意見書」が提出されました。私は、会派「市民民主連合」を代表して、この発議案への賛成討論を行いました。会派を代表してと、勝手ながら、国民の大多数の声を代表して賛成討論を行ったつもりです。

政府は9月6日に国葬費用の総額が16億6千万円になるとの試算を発表しました。また、9月27日には国葬を強行するようですが、以下に書きました文章は、私が述べた国葬反対発議案に賛成討論をそのまま掲載しました。

まずもって、故安倍晋三元首相のご冥福をお祈りする。

この事件の現場が奈良県ではなく、もし船橋市でこの惨劇が起こっていたら、これから述べることは別にして、私も現場に献花していた筈である。それは政治信条や好き嫌いとは別に、一人の日本人として当然のことではないかと思う。

提出された発議案では

「安倍元首相が無法な銃撃で殺害されたこと自体は到底許されず、このような暴挙は厳しく糾弾されるべきである。同時に、それは安倍元首相に対する政治的評価、政治的批判とは全く別の問題である」としている。

また、提案理由説明でも、

「立憲主義を揺るがし、基本的人権を損ない、民意を無視するなど、あらゆる面で重大な問題点がある」と指摘している。

全く同感である。何故、国葬なのか全く理解できない。

私は別な角度から意見を述べる。

根本的に、安倍さんは国葬に値するのくだ。

国葬の理由に、憲政上過去最長のリーダーだった。ということが挙げられていた。首相として長かったのは、替わり得る人材がいなかったことと、利益集団の調整・駆け引きの上に成り立った「最長」であったと思う。長ければ良い、という問題ではない。如何に国や国民の利益にかなったかが重要である。短期でも、もっと立派な仕事を成し遂げた人はいっぱいおられる。

特に、一般人ではあるが、2019年12月4日、アフガニスタンにおいて、車で移動中に、何者かに銃撃を受け、アメリカの空軍基地へ搬送される途中で亡くなられた中村哲さん。医師でありながら、この不毛の土地に灌漑用水を引き、多くの人命を救う活動を続けな

がら非業の死を遂げた、この中村哲さんは「国民栄誉賞」に相応しいし、このような方こそ「国葬」にすべきであったと思っている。

また、多くの国や地域の首脳・要人が参列することも挙げられていた。その国のリーダーに対する式典等の案内があれば余程のことがない限り参列するのが礼儀である。これは、理由にならない。

参列されると表明している方々は、彼が日本で問題となっている、森友問題・加計問題・桜を観る会等で多くの税金を使い、説明責任も果たさず、多くの国民の不評を買っている現実を知っているのか疑問である。

そして、外交に多大な功績があったとも言われている。

しかし、他国を支援するために多額のお金を持っていったり、支援を約束すれば、どの国でも大歓迎するのは当たり前だ。

また、あの非道なロシアのプーチン大統領と、27回も会談したらしいが、北方領土も以前に増して遠ざかったし、プーチンと心を通わしていたなら、戦場となり半年を経過したウクライナのために何をしてくれたのか全く分からない。対中国、対北朝鮮、対韓国もしかりである。長期政権と一部では褒めちぎられているが、何か目に見える成果があったのか、はなはだ疑問だ。

また、最近では、7月に行われた安倍元首相の「家族葬」に、戦後初の「陸上自衛隊の儀仗隊」まで参列させていた。誰の指示かは想像つくが、公私混同も甚だしい。これも税金の無駄遣いである。

そして最後に、忘れてはならないことがある。同じ死でも「無駄死に」に終わった近畿財務局元職員の「赤木俊夫さん」のことを考えると辛く悲しくなる。その死に至る要因となったのであろう「当時の安倍首相の国会答弁による改ざんを強いられた」ことへの「死を持っての抗議」に、心から反省も謝罪もできない張本人のために、警備費を含むと20億円とも50億円とも言われる多額の税金を使うことに、全く納得がいかない。良くぞ、この発議案を提出してくれたと感謝申し上げたい。

この警備費を含む金額を示そうとしないのは、余りにも高額で国民の反発を買い、国葬を反対されるからに他ならない。終わってから正確な数字を出す、という政府の発言だが、われわれ市議会で、理事者側から予算案を出さずに「決算で数字が確定したら、それが予算に当たる」という真逆のことを言っているに等しい。こんな子供でも分かることを国の中枢が言っている。

以上、「国葬」には当たらない理由を、追加して述べた。賛成か反対か迷っている皆様、流れに流されず、真っ当な日本人なら選択は明白だ。どうか正しい判断をお願いしたい。

過半数を超える国民が「国葬」に反対している現状を、泉下の彼の人は、どんな思いで見られるか。まあ、説明責任も果たさず逃げ廻ってきた彼の人は「意に返さない」と言うとは思っているが。

散々こき下ろしてしまっただが、泉下となられた彼の方に対しては、改めて心からのお悔やみを申し上げたい。

以上が私が行った討論です。

その後直ちに採決したところ、この（国葬反対の）発議案に賛成したのは、提出した日本共産党と市民民主連合、無所属の3名と他の会派1名だけで否決されました。本当は国葬に反対だが、発議案を出した党を好まないから反対した。などと自分の意志を通さなかった議員もいたことは事実です。